

# 鳥栖市転入者アンケート

(中間報告)

## 300人に聞きました!



実施期間 平成29年11月1日～平成30年2月28日  
回答者数 323件 (世帯)

**TOSU CITY**  
Your New HomeTown!

平成30年3月1日

鳥栖市 企画政策部 総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室



問9. 鳥栖市以外に転居先の候補地はありましたか？

1. なかった ➡ 問10へ

2. あった

市区町村名（ ） 【記入例】 福岡市南区、小郡市

問10. 鳥栖市では移住の取組を推進しています。移住者インタビューなどの取材を「受けてもよい」と思われる方は、ご連絡先をお教えてください。



お名前	
ご住所	鳥栖市
お電話番号	( ) -

ご記入いただいた個人情報は、厳重に管理し鳥栖市への移住推進に関する業務以外に使用いたしません。

鳥栖市ウェルカムガイド「移住者インタビュー」

ご協力ありがとうございました。



鳥栖市企画政策部総合政策課  
まち・ひと・しごと創生推進室  
TEL 0942-85-3511  
MAIL sougou@city.tosu.lg.jp

# 平成29年度 鳥栖市転入者アンケート 中間報告 [H29.11.1~H30.2.28]

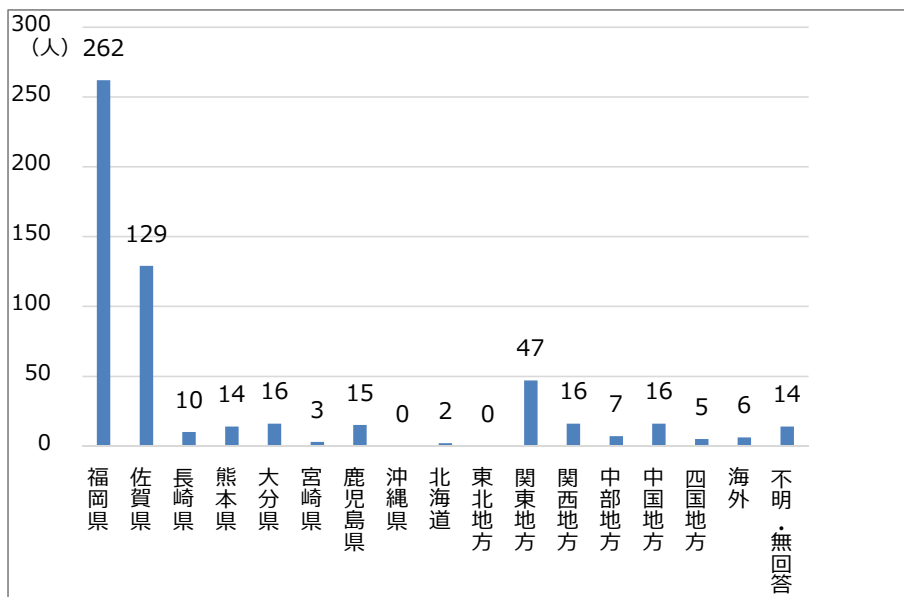
鳥栖市 企画政策部 総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室

■回答件数 323件 (世帯)

■転入者数 562人

(うち、県内からの移住者129人 県外などからの移住者433人 )

■転入者562人の前住所地 (九州内県別・全国ブロック別)



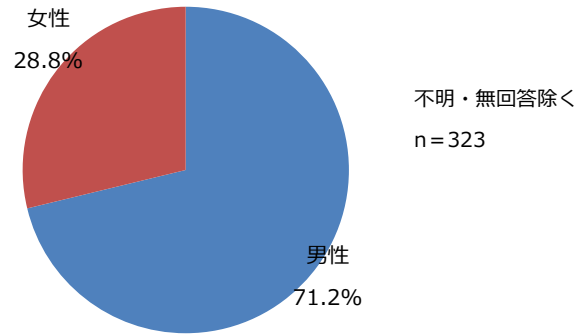
■転入者562人の前住所地 (県別)

順位	前住所地	人数	比率
1	北海道	2	0.4%
2	茨城県	1	0.2%
3	栃木県	4	0.7%
4	埼玉県	11	2.0%
5	千葉県	3	0.5%
6	東京都	17	3.0%
7	神奈川県	11	2.0%
8	富山県	1	0.2%
9	山梨県	2	0.4%
10	愛知県	4	0.7%
11	三重県	2	0.4%
12	大阪府	5	0.9%
13	兵庫県	7	1.2%
14	奈良県	2	0.4%
15	島根県	1	0.2%
16	岡山県	1	0.2%
17	広島県	11	2.0%
18	山口県	3	0.5%
19	愛媛県	1	0.2%
20	高知県	4	0.7%
21	福岡県	262	46.6%
22	佐賀県	129	23.0%
23	長崎県	10	1.8%
24	熊本県	14	2.5%
25	大分県	16	2.8%
26	宮崎県	3	0.5%
27	鹿児島県	15	2.7%
28	海外	6	1.1%
29	不明・無回答(人)	14	2.5%
移住者数 (人)		562	

### 問1.世帯主の性別

		回答数	比率
1	男性	230	71.2%
2	女性	93	28.8%
a	有効回答者数(人)	323	
b	不明・無回答(人)	0	
回答者数(人) a + b		323	

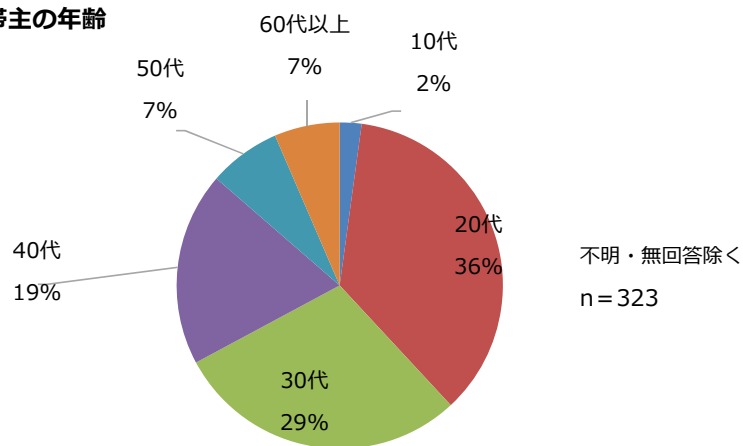
### 問1 世帯主の性別



### 問2.世帯主の年齢

		回答数	比率
1	10代	7	2.2%
2	20代	116	35.9%
3	30代	94	29.1%
4	40代	62	19.2%
5	50代	23	7.1%
6	60代以上	21	6.5%
a	有効回答者数(人)	323	
b	不明・無回答(人)	0	
回答者数(人) a + b		323	

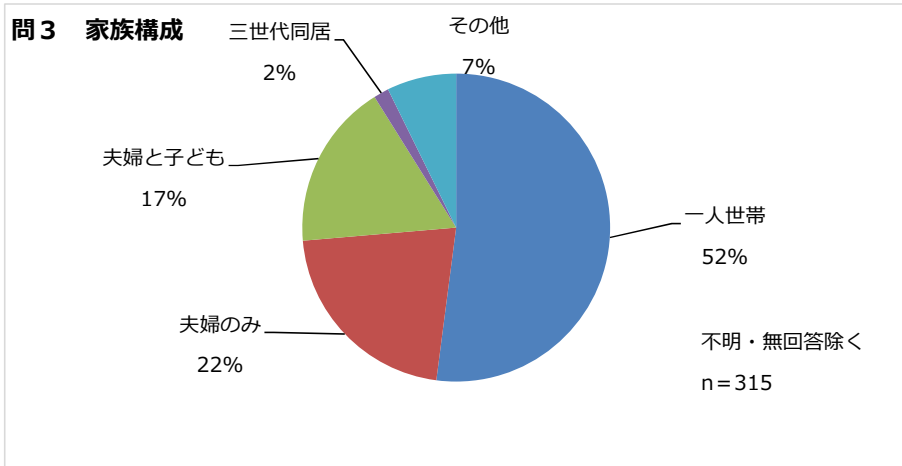
### 問2 世帯主の年齢



若年世代は、就職、転職、結婚、出産、住宅取得などライフイベントが多いこともあり、20代、30代だけで全体の7割近くを占めている。

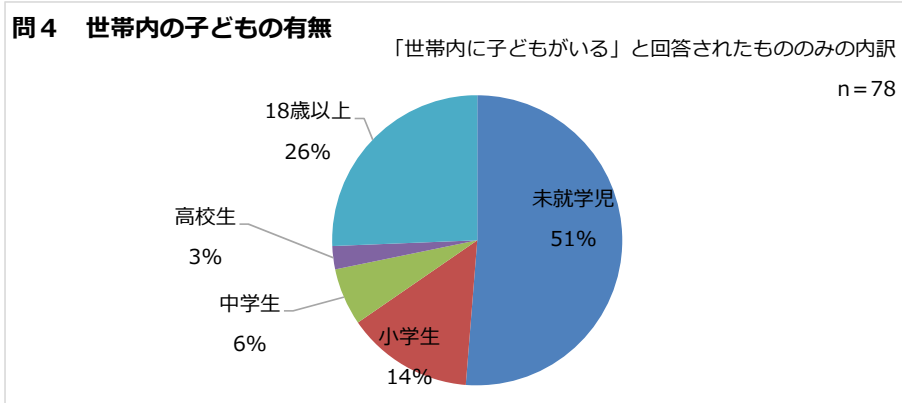
### 問3.家族構成

		回答数	比率
1	一人世帯	164	52.1%
2	夫婦のみ	68	21.6%
3	夫婦と子ども	55	17.5%
4	三世帯同居	5	1.6%
5	その他	23	7.3%
a	有効回答者数(人)	315	
b	不明・無回答(人)	8	
回答者数(人) a + b		323	



### 問4.世帯内の子どもの有無

		回答数	比率
1	未就学児	40	8.6%
2	小学生	11	2.4%
3	中学生	5	1.1%
4	高校生	2	0.4%
5	18歳以上	20	4.3%
6	子供なし	394	84.4%
a	有効回答者数(人)	467	
b	不明・無回答(人)	5	
回答者数(人) a + b		472	

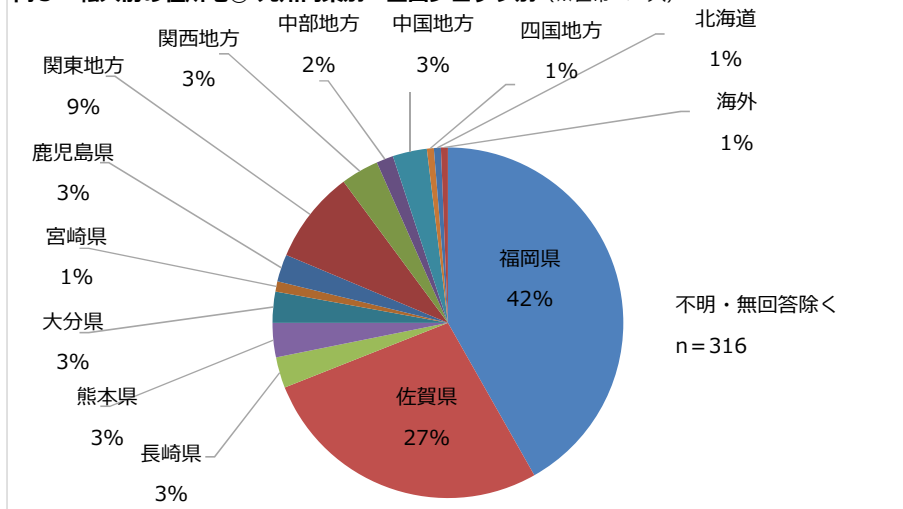


「家族構成」については、世帯当たり人数が減少を続けていることを裏付けるように、一人世帯だけで半数以上を占めている。「世帯内の子どもの有無」については、子どもがいる世帯の場合は未就学児や小学生などの低年齢層の子どもの割合が高く、子どもの年齢と居住地変更の間には一定の関連性があると考えられる。

問5.転入前の住所地①（都道府県）※世帯ベース

	回答数	比率
1 北海道	2	0.6%
2 青森県	0	0.0%
3 岩手県	0	0.0%
4 宮城県	0	0.0%
5 秋田県	0	0.0%
6 山形県	0	0.0%
7 福島県	0	0.0%
8 茨城県	1	0.3%
9 栃木県	2	0.6%
10 群馬県	0	0.0%
11 埼玉県	6	1.9%
12 千葉県	2	0.6%
13 東京都	10	3.2%
14 神奈川県	6	1.9%
15 新潟県	0	0.0%
16 富山県	1	0.3%
17 石川県	0	0.0%
18 福井県	0	0.0%
19 山梨県	1	0.3%
20 長野県	0	0.0%
21 岐阜県	0	0.0%
22 静岡県	0	0.0%
23 愛知県	3	0.9%
24 三重県	1	0.3%
25 滋賀県	0	0.0%
26 京都府	0	0.0%
27 大阪府	3	0.9%
28 兵庫県	5	1.6%
29 奈良県	2	0.6%
30 和歌山県	0	0.0%
31 鳥取県	0	0.0%
32 島根県	1	0.3%
33 岡山県	1	0.3%
34 広島県	6	1.9%
35 山口県	2	0.6%
36 徳島県	0	0.0%
37 香川県	0	0.0%
38 愛媛県	1	0.3%
39 高知県	1	0.3%
40 福岡県	132	41.8%
41 佐賀県	86	27.2%
42 長崎県	9	2.8%
43 熊本県	10	3.2%
44 大分県	9	2.8%
45 宮崎県	3	0.9%
46 鹿児島県	8	2.5%
47 沖縄県	0	0.0%
48 海外	2	0.6%
a 有効回答者数(人)	316	
b 不明・無回答(人)	7	
回答者数(人) a + b	323	

問5 転入前の住所地① 九州内県別・全国ブロック別（※世帯ベース）



### 問5.転入前の住所地②（市区町村）※世帯ベース

福岡県（半径30km圏内の市区町）+県内市町		回答数	比率
1	福岡市東区	3	1.0%
2	福岡市博多区	14	4.5%
3	福岡市中央区	6	1.9%
4	福岡市南区	5	1.6%
5	福岡市西区	4	1.3%
6	福岡市城南区	1	0.3%
7	福岡市	6	1.9%
8	久留米市	34	10.9%
9	柳川市	1	0.3%
10	筑後市	2	0.6%
11	大川市	2	0.6%
12	小郡市	10	3.2%
13	筑紫野市	5	1.6%
14	春日市	2	0.6%
15	大野城市	3	1.0%
16	太宰府市	6	1.9%
17	うきは市	3	1.0%
18	朝倉市	2	0.6%
19	みやま市	2	0.6%
20	那珂川町	1	0.3%
21	筑前町	1	0.3%
22	大刀洗町	1	0.3%
23	大木町	2	0.6%
24	佐賀市	26	8.3%
25	唐津市	3	1.0%
26	多久市	2	0.6%
27	伊万里市	3	1.0%
28	鹿島市	3	1.0%
29	小城市	4	1.3%
30	嬉野市	4	1.3%
31	神埼市	5	1.6%
32	吉野ヶ里町	7	2.2%
33	基山町	12	3.8%
34	上峰町	2	0.6%
35	みやき町	8	2.6%
36	有田町	1	0.3%
37	大町町	1	0.3%
38	上記以外の市区町村	116	37.1%
a	有効回答者数（人）	313	
b	不明・無回答(人)	10	
回答者数（人） a + b		323	

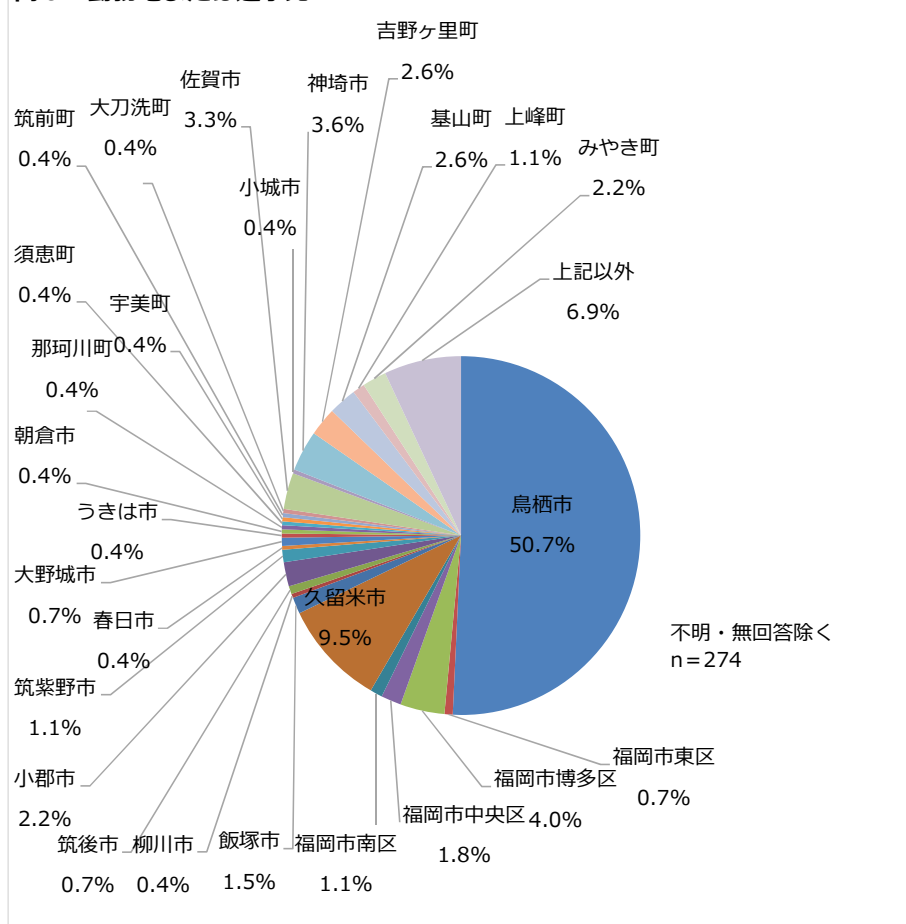
転入前の住所地为市区町村別に見ると、鳥栖市から半径30Km圏内の福岡県の市区町と県内市町で全体の「62.9%」を占めており、そのうち福岡県の市区町村が「37.1%」、佐賀県側が「25.9%」となっており、鳥栖市人口ビジョンにもあるように近隣市区町村からの転入が多い状況が継続している。



### 問6.勤務地または通学先

福岡県+県内市町		回答数	比率
1	鳥栖市	139	50.7%
2	福岡市東区	2	0.7%
3	福岡市博多区	11	4.0%
4	福岡市中央区	5	1.8%
5	福岡市南区	3	1.1%
6	久留米市	26	9.5%
7	飯塚市	4	1.5%
8	柳川市	1	0.4%
9	筑後市	2	0.7%
10	小都市	6	2.2%
11	筑紫野市	3	1.1%
12	春日市	1	0.4%
13	大野城市	2	0.7%
14	うきは市	1	0.4%
15	朝倉市	1	0.4%
16	那珂川町	1	0.4%
17	須恵町	1	0.4%
18	宇美町	1	0.4%
19	筑前町	1	0.4%
20	大刀洗町	1	0.4%
21	佐賀市	9	3.3%
22	小城市	1	0.4%
23	神崎市	10	3.6%
24	吉野ヶ里町	7	2.6%
25	基山町	7	2.6%
26	上峰町	3	1.1%
27	みやき町	6	2.2%
28	上記以外	19	6.9%
a	有効回答者数(人)	274	
b	不明・無回答(人)	49	
回答者数(人) a + b		323	

### 問6 勤務地または通学先



勤務地または通学地は鳥栖市内が半数を占めている。次いで、福岡県の市区町で「23.3%」、佐賀県の市町は「13.7%」となっており、本市と福岡県との経済的な結びつきの強さを裏付ける結果となっている。

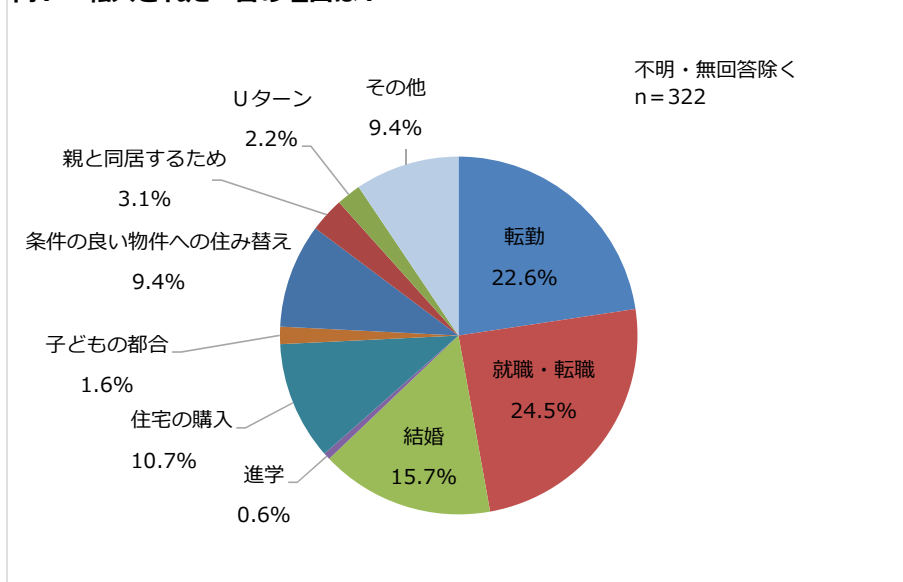
### 問7.転入された一番の理由

	回答数	比率
1 転勤	72	22.6%
2 就職・転職	78	24.5%
3 結婚	50	15.7%
4 進学	2	0.6%
5 住宅の購入	34	10.7%
6 子どもの都合	5	1.6%
7 条件の良い物件への住み替え	30	9.4%
8 親と同居するため	10	3.1%
9 Uターン	7	2.2%
10 その他	30	9.4%
a 有効回答者数(人)	318	
b 不明・無回答(人)	4	
回答者数(人) a + b	322	

### 問7-②.「その他」の主な内容一覧

	回答数
1 離婚	2
2 親や家族の事情のため	7
3 住宅の事情	3
4 仕事に関連するもの	2
5 知人と同居・同棲のため	2
6 転勤と結婚	2

### 問7 転入された一番の理由は？



転勤、就職・転職など、仕事に関することが転入理由の半数近くを占めている。次いで、結婚、住宅の購入と続いており、市内に雇用の場があることをはじめ、結婚による新生活の拠点として若い世代に選ばれていることが転入者獲得につながっているものと考えられる。

問8.鳥栖市を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

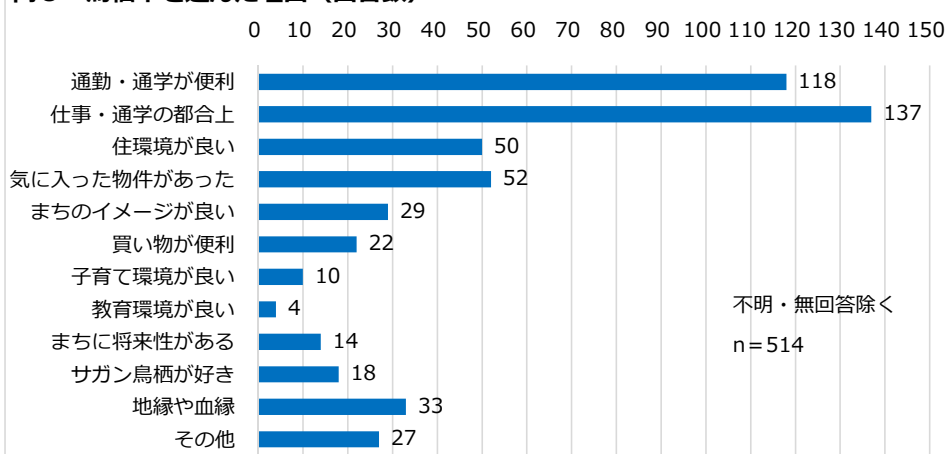
	回答数	比率
1 通勤・通学が便利	118	23.0%
2 仕事・通学の都合上	137	26.7%
3 住環境が良い	50	9.7%
4 気に入った物件があった	52	10.1%
5 まちのイメージが良い	29	5.6%
6 買い物が便利	22	4.3%
7 子育て環境が良い	10	1.9%
8 教育環境が良い	4	0.8%
9 まちに将来性がある	14	2.7%
10 サガン鳥栖が好き	18	3.5%
11 地縁や血縁	33	6.4%
12 その他	27	5.3%
a 有効回答者数(人)	514	
b 不明・無回答(人)	11	
回答者数(人) a + b + c	525	

※比率は有効回答数に占める割合

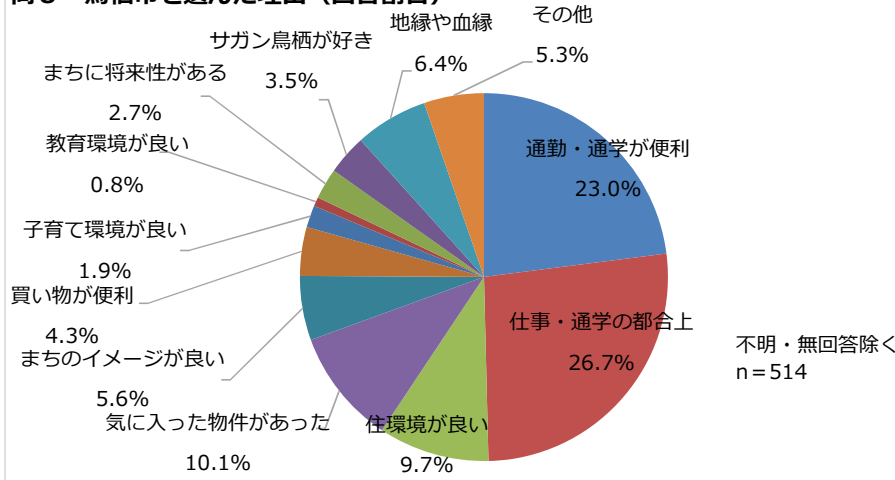
問8-②.「その他」の主な内容一覧

	回答数
1 知人と同居・同棲のため	3
2 仕事上の都合	4
3 親や家族の事情	6
4 住宅の事情	1
5 土地が安い	1

問8 鳥栖市を選んだ理由（回答数）



問8 鳥栖市を選んだ理由（回答割合）

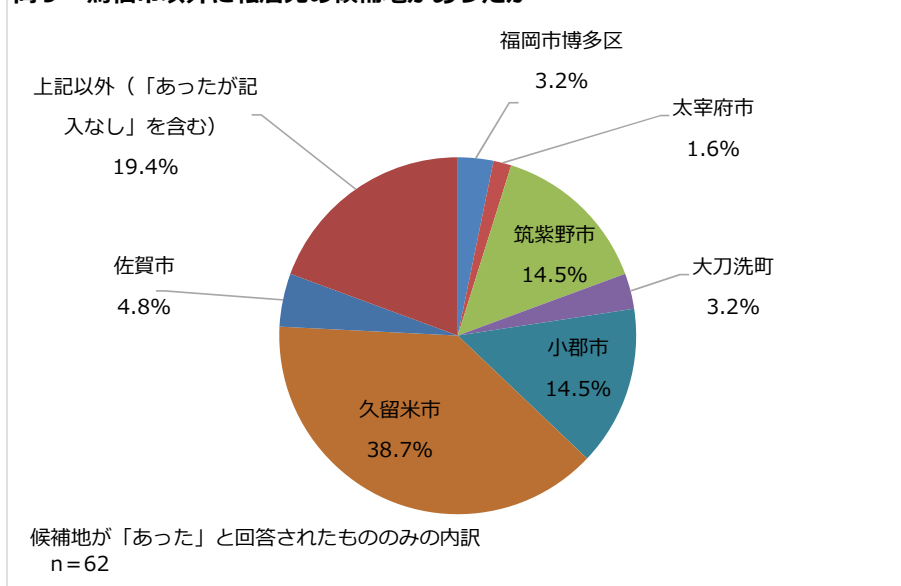


鳥栖市を選んだ理由は、「通勤・通学が便利」、「仕事・通学の都合上」で約半数を占めており、日々の通勤時の利便性や職住接近の住環境などが居住地選択時に重要視されていることが分かる。次いで、「住環境が良い」、「気に入った物件があった」、「まちのイメージが良い」などが比較的高いことから、仕事上の理由のみならず日々の暮らしの面においても一定の評価を得ていることが分かる。

### 問9.鳥栖市以外に転居先の候補地があったか

福岡県（市+半径30km圏内）+県内市町		回答数	比率
1	なかった	164	72.6%
2	福岡市博多区	2	0.9%
3	太宰府市	1	0.4%
4	筑紫野市	9	4.0%
5	大刀洗町	2	0.9%
6	小郡市	9	4.0%
7	久留米市	24	10.6%
8	佐賀市	3	1.3%
9	上記以外（「あったが記入なし」を含む）	12	5.3%
a	有効回答者数（人）	226	
b	不明・無回答（人）	97	
回答者数（人） a + b		323	

### 問9 鳥栖市以外に転居先の候補地があったか



転入世帯の約4分の3は本市以外に転居先の候補地はなかったと回答されているが、「候補地があった場合」には、佐賀県内ではなく久留米市を中心とした福岡県側の近隣市が候補地の中心となっている。